

星屑

2012年9月号

No. 450



昇る水星と金星・月

2012年8月16日 5:08 熊本県民天文台にて

熊本県民天文台

7/14(土) 熊本市南区 鮑田公民館で
教養講演会 「星空から宇宙を探る」

県民天文台を紹介、星空を観察し宇宙を考える楽しさを伝えました



自主講座の発表会も

講演会に先立って、最初はハーモニカ、次に男女のカラオケ、最後にダンスの発表会がありました。

日頃の練習の成果を発表した方々が、そのまま講演会の参加者になってくださいました。

なるほど、こうやって参加者の確保をしていらっしゃるのですね。



「星空大好き」な方も加わって

自主講座の発表が終わったあと、ステージにスクリーンとプロジェクターを設置。その間に、星好きな方が数名やってこられて、午前10時から「講演会」が始まりました。今年の梅雨は雨の日が多くて開催日の前は連日豪雨続き、そして、この日も朝から雨。それで出足が鈍ってしまったのか、参加者の数はそれほど多くなくて40~50名程度、「日頃の教養講座でも参加者は多くない」とは聞いていましたが、ちょっとびり残念でした。



ロマンチックな「星空」

だと思って見ているが

ちょっと注意深く観察すると、そこは、意外なほどダイナミックな世界=「宇宙」だと気づきますよ! そして、自分が持っていた知識が整理され再構築されて宇宙の姿が少し理解できると、その時の驚きと感動は結構すごいものがありますね・・・。楽しくつ



てしようがないほど・・・。そんな展開に持っていたくて、数日がかりで「電子紙芝居」の解説を手直しし、この日の講演に臨みました。

私にとって興味津々の「宇宙もの」の解説をたっぷり盛り込んで、メニュー画面を構成したわけです。また、最初に県民天文台を紹介する部分も、メニュー画面を作り直して、「あ、良い雰囲気! 行ってみたい!」と思っていただけるよう、工夫してみました。

星座物語が必要か?

子どもを含む若い人は数名で、熟年世代がほとんどという聞き手でしたから、講演を進めながら、「星座物語などもう少し碎けた内容を含めた方が良かったのかな?」とも思いましたが、少しゆっくりとしたテンポで、いつもより丁寧に解説を加えながら、1時間半にわたって解説を展開しました。

残りの30分が質疑応答の時間です。さて、質問は出るのだろうか? そんな心配が一瞬頭をよぎりましたが、それは杞憂でした。すぐに手が上がり、県民天文台のことや宇宙の膨張などについての質問を頂きました。一つひとつに答えながら、講演の中で展開しきれなかった部分を補強。予定時間いっぱいまで、楽しんで頂く事ができました。

参加してくださった方々の中には、「ぜひ県民天文台に星を見に行きたい」と目を輝かせて話しかけて下さる方もいて、私も、なんだか嬉しくなってしまいました。

7/21(土) 水俣市立第一小学校 4年生の学年行事 「星の観察会」 晴れて、天の川も! 「えっ! あれが天の川! ?」 子どもだけでなく、大人も大喜び!



折り紙で「星」を作る

学年行事の第1部は、親子で「折り紙」です。キラキラしたラメ入り(?)の折り紙と、星を折るための手順書が用意してあって、クラス別に分かれて熱心に取り組みました。折り方が難しいようで、何度も手順書を見直したり、お互いに教えあったりしながら紙を折っていました。それでも、30分~40分ほどでうまく折り上がったようです。子ども達が出来上がった星を高くかざしてクルクル・ヒラヒラ動かすと、まるで星が瞬いているかのようです。

「雨が降る」という予報が外れて、星が見えることを期待しながら、私はプロジェクターを設置、それから校庭で望遠鏡の準備をしました。



体育館で観察法を

4年生が3クラスで100名、保護者や家族が80名ほど参加していたでしょう。19時に始まる第1部は、体育館内での解説です。まず、今夜見える星空を解説。それから、星座早見盤の使い方を指導。そして、星の位置を手で計る、いつもの方法を解説しました。

それから、参加された先生や保護者の方にも手伝っていただき、LEDの人工星を使って、星と星の間隔を角度で測る実習を行い、小型の望遠鏡で「星を観察する」練習もしてもらいました。

星が見え始めました！

体育館内の蒸し暑さが気になり始めた頃、「星が見え始めました！」とい伝令の声が届きました。「やった!」「さあ、ゆっくりと外へ出ましょう」「ついでにトイレも済ませてね」そう声をかけ、いよいよ校庭での星の観察会が始まりました。

天の川も見えました！

最初は雲が多くて、アンタレスや夏の大三角がやっと見える状態だったのです。ところが、星空の解説や観察をやっている間に、ドンドン雲が消えていき、途中から天の川が姿を現しました。いて座付近は、モコモコした感じも分かります。これにはみんな大喜び!

水俣市在住の天文ボランティアさんにお手伝いいただき、反射望遠鏡で土星を見せてもらうことができました。これは大助かり。土星の輪が見て、大人達も大喜びでしたからね。水俣に向けて出発するとき、熊本は雨。天気予報でも県内は雨という予想でしたから、私は12cm屈折と小型の望遠鏡しか持参しなかったのです。

こんな具合で、180名ほどが参加した「星の観察会」が無事に終了しました。

ただ、忙しすぎて、校庭で星を見ている様子を全く撮影できなかったのが残念でした。

8/2(木) 9:00~11:30 御船町木倉小学童保育クラブ ロケット打ち上げと天体の不思議

ロケットの高度に先生方もびっくり！思わず拍手が・・・！

熊本県環境センターの環境教育指導者派遣制度を活用

午前中に開催！

夏休みに入ってからイベント開催の要請が入ったので、「夜、星を見る」のだと思い込んでいました。ところが、開催日が決まって、詳細案内を見たら、学童保育を受けている子ども達向け

に、午前中の時間帯を使って開催するのだと分かりました。そして、モデルロケット打ち上げ体験も、「ぜひやりたい」というではないですか。これには結構悩みました。



小学生16名とお世話係5名、計21名で

なにしろ、梅雨明けあとは猛暑の連続。午前9時半頃には、確実に30℃に達しているはず、それに厳しい日差しも・・・・。かなりテキパキと打ち上げ作業を行う必要がありそうです。おかげに、小型ながら台風まで接近してきました。強い風にも注意が必要です。うーん、これは、なかなか大変だぞ!

雲が味方！？

でも、主催者側の日頃の行いがよっぽど良かったのでしょう。前夜までは強かった風が朝にはピタッと止んで、しかも東の空に雲が広がり、太陽を隠してくれました。頭の上の半分は青空なのですから、これほど絶妙なお天気はありませんよ。

それで、まずエアコンの効いた室内で開会宣言。ロケット打ち上げと改修作業についての解説を、一通り済ませてから校庭へと移動しました。校庭で、グループ毎に整列してもらい、そこでもう一度、ロケットの打ち上げと回収の手順について再確認。風の強さや風向きを調べてから、いよいよ打ち上げにかかりました。

事前の準備がうまくいったからか、3機目まではとても順調に打ち上がり、パラシュートを開いて降りてくる機体を、うまく回収してもらうことができました。ところが最後の4機目で、ちょっとした異変が起こってしまいました。

強力なエンジンで！ 高々度へ！

最後の1機だけ強力なロケットエンジンを装着していたのです。それで念のためもう一度風向・風速を確かめてから、大丈夫だと思ってカウントダウン。小学校の先生方も校庭に出てきて、一緒に大きな声で唱和して下さいました。「ゼロ！ 発射!!」の声で発射ボタンを押すと、ロケットはかなりのスピードで一気に高空へ、先ほどまでの2倍近い高さまで飛んでいきました。そして、ポン！と先端を分離、打ち出されたパラシュートが開くと、大きな歓声と拍手!!!

良かったのはここまでです。次の瞬間、「参った！」と思いました。

上空の風向きが、地表近くとは全く違うのです。おかげに風速も少し早い。その緩やかな風に乗って、ロケットがゆっくりと校庭の外に向かって流されて行くではないですか。心配したのか、子ども達の中から「ロケットがどこかへ行ってしまったら、どうなるの？」という声が・・・。「戻ってこなかったら、おじさんは泣きます」と応えて、じっと流されていく先を見つめました。

その時です、保護者数名と子ども達が、ロケットの落下地点を予想、その辺りに見えている民家めがけて移動を開始。・・・・数分後、無事に回収されたロケットが戻ってきました。「良かったねえー！」嬉しそうにロケットを手渡してくる子ども達と目を合わせながら、お互いに声をかけ合いました。こうして、地表近くと上空とで風の強さや風向きが違うことをしっかり学びつつ、無事にモデルロケットの打ち上げ体験が終了しました。

室内で、星座物語や星空クイズ

後半は、エアコンの効いた室内に戻り、プロジェクターを使って電子紙芝居での解説です。以前御船町市民グラウンドで開催した「星の観察会」を体験している児童もいて、「星座物語」にリクエストが集まりました。以前聞いたお話をもう一回聞きたい子や、前回は聞けなかったお話を聞きたい子が、メニュー画面を見ながら次々と大きな声でリクエストしてくれました。そして、最後はお決まりの「星空クイズ」です。この時は「難しいのが良い」という声が出て「星空クイズ」の「その2」と「その3」も上演。難しい問い合わせ連続しても、子ども達は一生懸命に考えながら答えてくれました。

こうして、あっという間に予定時間を超えてのイベントが終了。学童保育クラブのお世話をしている小学校の先生が、「あなたたちが、こんなに熱心に、こんなに長い時間頑張っているのを、初めて見ました!」というほど、子ども達は集中力を切らさずにつきあいしてくれたようです。

「今度は星を見せてね!」、そんな声に送られて、会場をあとにしました。

8/4(土) 山鹿市博物館で 19:00~20:45

夏休み子ども企画 「星空観望会」

運営委員の高田氏が講師を務めました メーリングリストから

運営委員の高田です。

>8月4日 山鹿市博物館 星空観望会 19:00-20:30ぐらい

> 市役所に勤める従兄から話がきました。

「(山鹿市立博物館) 夏休み子ども企画『星空観察』」やっとおわりました。

参加者: 27名(博物館) +15名(サイクリングターミナル宿泊者)、計 42名

内容:

- ・今夜の星空 説明
- ・博物館会議室 8月の天文現象(月・木星接近、ペルセウス座流星群、金星食)をステラナビゲータを使って、説明
- ・望遠鏡を使って、火星と土星を観察。

8/7(火) 小学校4年生 の「月の学習」について

特別授業案作りを協議

8月16日(木)には、8名の先生方が来台され意見交換

小学校4年生の学習内容

文科省の指導要領が改訂され、小学校4年生で学習する星や月についての内容が増えています。また、理科の授業が目指す獲得目標の中に、自然環境に配慮する視点を養うことも含まれているのだとか。秋に行う予定の「月の観察」に関する授業をどのように進めるのが良いか、上

益城郡内の理科教育部会の4年生グループで、検討が進んでいたようです。

その中に、月の観察を行う際に「光害」についての学習も取り入れてみようと考えた先生がいらっしゃって、「一度話を聞きたい」との電話がありました。

天文台へ来ていただいて、いろいろ話をし、ついでに土星などを41cm望遠鏡で観察していました。そうしたら、土星の輪に大感激! 「本物を見る」ことの大切さを痛感されたようでした。

部会で報告したら

「そんなにすごいのなら・・・、一度みんなで話を聞きに行ってみよう」ということでしょうか、すぐにまた電話がかかってきて、16日の午後に、来台されることになりました。おいでになった8名の先生方と意見交換。県民天文台で作成した「星の観察自由研究入門」の冊子なども活用しながら、電子紙芝居をつかって、いくつかのポイントを説明。小学校での授業の中で県民天文台と連携できることがないか、検討していただきました。

まずは、1校で、10月に実験授業をやってみようという方向で、話が進んでいます。

月の形と動きは、大人でも正確に理解することが難しい内容なので、どんな内容を獲得目標に据えるのか、そのためにどんな授業や観察プランを作るのか、科学的な考察力を育てるため、工夫した方が良いところはないか、等々、課題を討議し、具体的な検討が進む予定です。

メーリングリストから

8月5日配信

昼間、電話問い合わせが少なかつたので、今夜はたいしたことないかも・・・と思っていたのですが、19時前に天文台に着いたら、すでにお客さんらしい人たちが古墳公園内にいて・・・・。

いそいで、パソコンを使ってスピカを導入、そこでアライメントをとつてから、次に土星を導入して、お客さんを呼び込みました。

記名があったのは35名です。たぶん40名くらいおいでになったのだと思います。21時半頃まで、観測室は満杯でした。

今夜は、会員の成松さんが久しぶりに来台され、運営を手伝って下さいました。日頃は、コンピューター制御の望遠鏡ばかり使っていらっしゃるので、手動で導入するのを見るのは久しぶりの体験だったみたいです。

そのうちに、運営委員として復帰して下さるかも。

・・・・・

気軽に、遊びに来て下さるだけでも嬉しいですね。

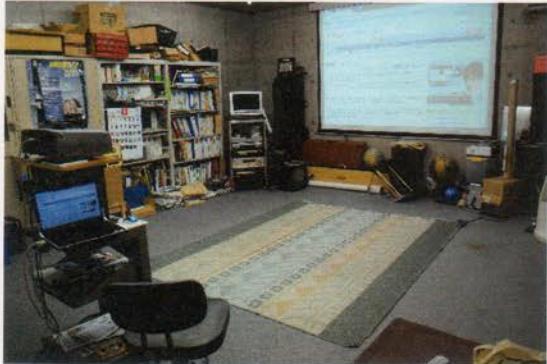
(艶)

8/8(水) YMCA学院高等学校

「星空への招待」特別授業

11名+2名

残念ながら曇り空、室内で星空や惑星についての解説を行いました



から、時間はかかるし、結構大変だったので。それでも、高校生達に気持ちよく受講してもらいたいという思いで頑張りました。

ミーティングルームがきれいになると、今度は階段や2階の観測室まで。大量のゴミを吸い取って、久しぶりに天文台が広々と感じられる状態になりました。

まず、大掃除！

今年は梅雨の大雨続きで、室内の大掃除ができませんでした。それで、室内での解説になりそうなこの日のイベント前に、掃除機を持ち込んで、大掃除を実施しました。

なかなか片付けられなかったこたつも撤去して、10数名の学生さん達が座れるように、広さも確保。掃除を始めた頃の室内は「こちらを触れば、あちらが崩れる」状態でした



7月は大雨で

予定を延期して、8月初旬の開催になったのですが、残念なことにこの日は曇り空。全く星が見えそうにありません。観測室で、望遠鏡などの解説をしてから、ミーティングルームでの解説を始めました。今年の天文現象として、金環日食や金星の太陽面通過を報告。それから、ペルセウス座流星群と金星食を紹介。次に惑星についての解説、最期に質疑をして、終了でした。

ケプラーの法則は難しい？

惑星の解説では、ケプラーの法則を説明したのですが、内側の惑星ほど公転速度が速いという点や、周期と公転半径との間に比例関係があるというところで疑問が噴出。コードをつけたブザーを振り回して、同じ力で引かれたときの回転半径と回転速度との関係を説明。比例関係については、実際の公転半径と公転周期を表として示し、そこに、「法則」を使って計算した結果も表示して、誤差が極めて少ないことを確認してもらいました。

事前の計画では、「20:10には終了したい」ということだったのですが、意外なほど質問が活発で、時間を延長して対応。参加した高校生達、質疑応答には満足した様子でしたが、「星空の観察」ができず、それがとても残念そうでした。

ここ数日、電話問い合わせがひっきりなしにかかるってきます。
「夏休みでも、金・土・日だけですか?」
「お盆の期間は、開いていますか?」
「ペルセウス座流星群を見るには?」
「特別なイベントがありますか?」
などなど・・・・

「遠くから帰省して来る孫に、ぜひとも星空を見せたい」という声も多いです。
しかし、この週末、お天気が悪そうですから、お客様の不満が高まりそう。

それで、14日（火）・15日（水）、晴れていれば特別に公開しようかと思っています。応援できそうな方はよろしくお願いします。（艶）

8/11(土) 水俣市 の 熊本県環境センター で スタートウォッチング

直前まで晴れていたのに・・・・



入道雲が崩れ始めて

17時には現地に到着。その頃は青空が広がっていて、遠くに巨大な入道雲がいくつか立ち上がっていました。それを眺めながら、望遠鏡を組み立てている間に、少しずつ入道雲の頭が伸び広がり、入道雲の足元に黒々と見える雲も広がり始めて、南風に乗って少しずつ近づいてきました。なんだかヤバイ雰囲気です。

そんなお天気でも、小学生の子どもを含む家族連れなど20数名の参加があって、19時に、室内での解説からスタートしました。最初は、今夜の星空、それから、星座早見の使い方、そして星の観察法の解説です。そこまでやって、野外を偵察してもらったら、「チラホラ星が見える」とのこと。全員が建物を出て芝生の広場に移動しました。

まず、望遠鏡を明るい星に向けようと思ったのですが、雲の広がるスピードが速くて、あっという間に空一面が覆われてしまいました。しばらくは雲間に見える星を追いかけていたのですが、



も聞こえ始めました。「こりやあ、ヤバイ！」です。ここは海に突き出た半島で、視界の開けた小高い丘のような場所。しかも芝生の広場に鉄の塊の望遠鏡を設置しています。落雷があったら、ひとたまりもありません。渋る参加者やスタッフを促して建物内に戻りました。

今度は星座物語

天の川を見ようと期待してやってきた子ども達が、とてもガッカリしています。何とか楽しい雰囲気を取り戻そうと電子紙芝居で星座物語のメニューを表示、どのお話を聞きたいか、リクエストを募りました。すると、「オリオンとサソリ！」という声、ありがたいことに定番のお話にリクエストが入りました。

1つ熱演すると、次はもういろんな声がかかります。その中に大きな声で「龍とムカデ！」という声がありました。それで、「これはね、星座物語というよりは、沖縄の民話なのです。でも昔の人が空や海をどのように考えていたか良く分かってとても面白いんです」などと紹介。上演しました。

熱演したからでしょうか、終わったら大きな拍手。そのあと、いくつか質疑をして、21時に終了しました。

参加者の反応はとても良好で、「県民天文台に行きたい!」「近くに泊まれるところがありますか?」なんて質問が出るほど。参加者の皆さんにしっかりと手を振って、お別れをしました。それから、もう一度外へ出て望遠鏡の片付けを始めたのですが、その頃は雨がシトシト・・・。「全くひどい天気でしたねえ」「残念です」と環境センターのスタッフさん達と声をかけ合いながら、撤収作業をしました。



終わった頃に、天の川

望遠鏡の片付けが終わりに近づいた頃、夏の大三角が見え始め、あっという間に星空が広がりました。とても暗い空で、天の川もクッキリ!・・・これには驚きました。ここは空が暗いのですね。スタッフさん達と、しばらく星空を見上げて、ちょっぴり星空解説をやってしまったほど。「観察会をやっている間に、少しでも見えてくれたら良かったのにねえ・・・」そんな声も出ましたよ。

でも、まあ、皆さん大満足で帰って下さったのですから、「星の観察」は、次の機会までとつておきましょうか。たぶん、環境センターでは、今年度内にもう一度「星の観察会」を企画して下さるでしょうから。

8/15(水) お盆ですから 特別公開

川崎市在住の家族が来台、福岡市からも

天の川 や 流れ星 が見え、歓声が上がっていました

8月の第2週に入ると、連日たくさんお電話がかかってくるようになりました。「夏休みの公開日は?」、「毎晩公開じゃないんですか?」、「お盆の期間は?」、「沖縄から孫が」、「都会から帰つてくるので、何とかして星を見せたい」などなど、どれも真剣です。国立天文台がペルセウス座流星群や金星食の情報を盛んに流布しているしねえ・・・・

「はあ・・・、一般公開は週末の夜だけなのですけど、お盆の期間中、星が見える状態なら、特別に公開しようと思います」と答えざるを得ない状態でした。それで、天文台のメーリングリストにも「応援募集」のメールを流しておいたのでした。そして、13日（月）も特別公開。しかしあ天気が悪すぎて、たくさん問い合わせはあったけれども実際の来台者は無し。14日も悪天候。「お天気にかかわらず開台します」と宣言した15日は、19時過ぎに一家族がおいでになり、スピカや土星から観察を開始。驚いたことに20時にはすでに天の川が見えているというほど的好条件。予想していたよりも来台者が少なかった分、たっぷりと楽しんでいただきました。また。福岡市から来た少年は、夜明け近くまで頑張ったのだとか・・・・。

すごく熱心な子どももいるんですねえ・・・・

軟弱おじさんは、もう、負けちゃってます・・・・！

メーリングリストから

8月16日配信

艶島です

今日（8/16、木）、夕方、天文台敷地の草刈りをしました。

明日、「フィールドミュージアムへ飛びだそう」のイベントですから。

その際、倉庫棟の北側（壁際）でマムシを発見！

草刈り機で処分しようと試みましたが、うまいこと逃げられてしまったみたい。

皆さん、ご用心ください。

雑草が茂った状態では、マムシの存在に気づきにくいですから、早めに草刈りしたり、除草剤を撒いたりしてあきたいですね。作業へのご協力、よろしくお願ひします。

（艶）

8/17(金) フィールドミュージアムへ飛びだそう！

夏の星空観察

98名の参加で、22時過ぎまで、大賑わいでした！



お天気は？

日中は猛暑、午後は大気の状態が不安定になって、夕方からところによっては激しい夕立、というのがこのところのお天気でした。17日も、その例に違わず、15時頃には入道雲がニヨキニヨキ、いつ夕立が来てもおかしくない状態。16時頃には、ザーッと雨が降りました。



18時頃から

会場作りの準備を始めましたが、お天気に不安がって、ビニールシートも最低限しか広げられません。プロジェクターやパソコンは、室内で準備をして、いつでも運び出せる状態で待機。それでも、何とか星が見える状態で、受付開始時刻が近づいてきました。あの不安は、主催者側の担当者がまだ到着していないことだけ。「18時半から打ち合わせ」の予定はどうなったんだろうねえ？



19時半、受付開始

この頃、ようやく「担当者」が到着。やれやれ、いったい誰が主催者なんだか・・・です。満面の笑みを浮かべてやってきた担当者さんに、「工程表を作ったのは、貴方でしょ？」と、冷たく言い放ってしまいましたよ。

・・・・・

それでもお客様はすでに来台し始めていて、観測室で、スピカや土星を観察中。雲行きも怪しいし、開会前だけどこのまま開始時刻まで土星の観察を続行することにしました。



20時、イベント開始

一旦、天文台の玄関前広場に集まつていただきました。来場者が多いので、急いでもう一枚。ビニールシートを広げて、座っていただけるスペースを確保、それから開会宣言を行いました。最初

に、県民天文台の概要と今夜の行程を説明してから、土星の観察を再開。まだ土星の観察が済んでいなかった方々には観測室に上がっていただき、残りの方々には「今夜の星空」の話題から、解説をスタートです。

こうやって、いつものように玄関前で解説、2階の観測室からは新しい天体を導入する度に伝令が来て、参加者に観察の案内をするというやり方で進行しました。かなりの人数で開会宣言をしたのですが、イベントが始まったあとも続々とお客様が駆けつけ、最終的には98名の来台が

あつたそうです。「環境センターのスターウォッチングで感動した」と、わざわざ水俣から参加された家族もあったのだとか。この人気、嬉しいですね。

20時、イベント開始

玄関前広場でも、時々星空を見上げて、星座の解説を実施。そんなときに流れ星がスゥーッと流れて、大きな歓声が上がったりしました。4~5個の流れ星を見て大喜びの子どもさんから、「流れ星のスピードはどれくらいですか?」とか、「天の川って、どうやってできたんですか?」とか、鋭い質問が出たのは良かったですね。それをきっかけに、「流星とは何か?」、「ペルセウス座流星群の特徴」なんて解説を展開したり、「天の川は地球から見える銀河系の断面図」、「太陽系は銀河系内を縦回り」などの解説も行いました。

41cm望遠鏡での観察中に、「今日は来て良かった、銀河系や天の川のことが初めてよく分かった」なんて声が出ていたそうですから、この日の解説は結構うまくいったようです。

あっという間に、22時

それで、この日のイベントは終了。次回(9/30)の「中秋の名月を見よう写そう!」の案内をして、閉会しました。この日の講師は艶島・中島・西嶋の3名、金曜担当の小林J・高田の2名が応援という体制でした。

「フィールドミュージアム」を金曜日に開催するのは初めてだったはずですが、お盆過ぎという開催時期も良かったのでしょう。集客もうまくいったし、運営も上々。お天気の割にはなかなかうまくいったと思います。

★★★ これからのスケジュール ★★★

**8/20(月)~22(水) 国立天文台で Paofits 合宿
天体画像教育利用ワーキンググループ**

**8/25(土) 山鹿市 水辺プラザかもと で
「星の観察会」 艶島・高田が出張予定**

8/29(水) 阿蘇、いこいの村で「星の観察会」(出張)

**9/30(日) フィールドミュージアムへ飛びだそう!
中秋の名月を見よう、写そう!**

10/中旬頃 小学4年生 「月の観察」特別授業

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

梅雨明けした途端に連日の猛暑です。待っていましたとばかりのクマゼミの声が暑さを倍増させています。暑い夏に付き物の夕立ですが、こちらでは思いのほか降りません。ただ、快晴の朝からもくもくと雲がわきあがる午後、そして今にも降り出しそうな夕方…でも降りきれずに雲がちな夜に突入…というパターンが多いような…

さてさて、夏休みに入り、天文台を訪れる小4ファミリーが増えてまいりました。明け方の空に輝く木星と金星が目を引くようで、あの二つの星はなんですかという質問や、流れ星が見えるのは…という質問もよく出ます。8月のメインイベント12日のペルセウス座流星群と14日の金星食。この記事が届くころには終わっているとは思うのですが、どうでしょうね。晴れてくれると嬉しいなあ。そうそう、12日には月と木星が超接近するようで、こちらも楽しみです。



夏

紺碧の空に 白い入道雲
黒々とした緑の陰から クマゼミシャワー
滴り落ちる汗が 白いノートに染みを作る
積み上げられた宿題が ちょっと首をかしげている
青空の亀裂は まだ 遠い

麦わら帽子の夏休み
風鈴と扇風機と緑のカーテンとで
エアコンのない夏の自己記録更新中

夜には明け放した窓から
おとめが さそりが いてが 挨拶する

こんばんは
今日もいいお天気ですね
熱帯夜はいやだなあなんて
そんな暑い部屋の中にいなくても
晴れたら外は涼しいんですから 私たちと遊びませんか

しきりにウインクしていた
いての横顔を思い出しながら
積み上げられた宿題のノートを開けば
汗染みだらけの白いページの罫線に
アサガオやニガウリやヘチマが
いっぱいに巻きついて
どこまでも伸びていく



By Dio

2012年7月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 10日／12日=83.33%
一般来台者数 353名

総開台日数 14日
会員来台数 29名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
3日 (火)	くもり	艶島	1人 阪急ツーリスト	オーロラツアーのパンフを持参。県民天文台での告知により申し込みをされると2万円引きになります。
4日 (水)	雨	高田	0人	七夕用の笹(根付き)を持ってきました。飾り付けよろしくお願ひします。マンガは持って帰ります。また新しいのを持ってきます。
6日 (金)	曇り	西嶋	0人	七夕飾り用の折り紙持ってきてました。しばらく飾り作りをしていましたが風も強いし今にも降り出しそうなので帰ります。
7日 (土)	曇り／ 晴れ	中島 西嶋 艶島 小林J	53人	久しぶりの晴天。しかも七夕！大賑わいでした。幸いにも晴れ間が広がりベガだけは全員見てもらいました。1階では星空解説、受付で短冊に願いを書いてもらって展示をしました！ ベガ+双眼鏡で土星とアンタレス 彗星観測
8日 (日)	快晴	艶島 西嶋 高田 小林J 小林M 小林J	38人	火星、土星、スピカ、アンタレス、M22,M27,M57 快晴で透明度も良好でした。 彗星観測
14日 (土)	曇り	中島 艶島 西嶋 中島 小林M	0人	大雨のため誰も来ませんね！ Talk about 星屑発送作業 来月の予定等
15日 (日)	晴れ	艶島	37人	火星、土星、アンタレス、アルタイル、アルビレオ、テネブ、はくちょう座X-1、M4、M7,M27 19:00前からお客様が来台。21:00前に満杯になりました。雲はあったけれど天の川が見え、楽しんでいただけました。一人で運営したのでちょっと忙しかったです。

日付	天気	担当運営	来台数	記事
19日 (木)	くもり	艶島	0人	雲の切れ間に星が見えるので撮影 「星の色」アンタレス、ベガ、アルタイル テネブ、アルビレオ
21日 (土)	曇り	中島	0人	曇り、雨になりそうです。誰も来ないので帰ります。 液晶ディスプレーを持ってきました。CRTが壊れました！
		艶島	160人	水俣第一小学校4年生観望会 電子紙芝居・星の観察(詳しくは紙面を)
22日 (日)	曇り	艶島	0人	天文台スロープの補修作業。大亞面で流されてしまった砂利をレーキでかき集めてスロープの段差を埋めました。お客様がきそうにないので帰ります。
23日 (月)	晴れ	艶島 小林J	1人	県環境センターより8/11スタートオッチングの打ち合わせ。月、アンタレス、X-1の観察 彗星観測
27日 (金)	晴れ時 々曇り	西嶋 高田 小林J	18人	月、土星、火星、アンタレス、アルビレオ、M6,M7,M22 15cm屈折で天頂付近の天体を見せました。M6,M7も見せやすくてGoodです。サンクストミー殿！！
			1人	文化企画課から講師依頼書を持参されました。
28日 (土)	曇り	中島 小林J	18人	月、土星 今日は曇り空の中、やっぱり熱心な家族ずれが多かった！ 夏の第三角形も見え、星空解説。
			1人	藤永建設より ドームの雨漏り修理の打ち合わせ！外壁が腐っていましたので外壁総取り替えということになりました。
29日 (日)	晴れ	艶島	25人	月、土星、火星、アンタレス、アルタイル、アルビレオ、ミザール、はくちょう座X-1 21:00過ぎてから来台された家族もあって、24:45まで一般公開。にぎわいました。

B 5 のたわごと

毎日猛暑日でヘロヘロの熊本ですが、皆様のところは如何でしょうか。夕立でも来てくんないかあ～と思っていると、土砂降りだったりします。こんなに激しく降らんでもと思うのですが、気候が以前とは違うのでしょうか。今年も暑さが厳しいですが、皆様お身体、どうぞ御自愛下さいませ。9月になれば、少しほうくなるかなあと、まだまだ先の事に思いを馳せてます。早く涼しくなりますように。でも年は取りたくないなあ。

☆ 9月の天文現象 & 行事 ☆

- 4日（火） 木星が西矩（21:21 -2.4等、視直径39.6"）
- 7日（金） 白露（はくろ… 秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味）
- 8日（土） 下弦（22:15） 月と木星が接近
トークアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）
- 10日（月） 水星が外合（03:10 -1.9等、視直径04.9"）
- 13日（木） 金星がプレセペ星団に接近
- 16日（月） 新月（11:11）
- 18日（火） 20日にかけて夕空に月と火星、土星の接近が見られる
- 22日（土） 秋分（しゅうぶん…昼夜同じ長さ（等分）になる日で秋分。秋の彼岸の中日）
- 23日（日） 上弦（04:41）
- 28日（金） 小惑星パラスが衝（23:08 8.3等）
- 29日（土） 天王星うお座で衝（23:50 5.7等、視直径03.7"）
- 30日（日） 満月（12:19） 中秋の名月
フィールドミュージアム「中秋の名月」

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2012年9月号 通巻450号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで